

情報連絡員報告・6月分

製造業の売上高持ち直し傾向続く

～非製造業は前年同月比DIマイナスを脱せず～

<東京都中央会>

6月の情報連絡員報告によると、製造業の売上高が2月から連続5ヶ月間前年同月比DIがプラスになり、売上高の持ち直し傾向が続いていることが明らかになった。非製造業の売上高は、今月も前年同月比-23.5でマイナスが続いている。報告欄に、米国BSEに関するものが寄せられている。関係する業界の方にとっては大変な問題であろう。オリンピックイヤーであるため関連する業界から期待の声がとどいている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

理容用品卸=慢性的不況にあえぐ理容業にあって、当組合では平成14年度に東京都中央会のご指導の下に活路開拓調査・実現化事業を実施した。その際、同調査に関わった若手組合員が奮起し「業界の明日を考える会」(仮称)を立ち上げ、組合員にとって共通の市場である理容業活性化のため、ニューシャンプー、ニューシェービングなど具体的な提案をしていくことになった。

日本橋問屋街=「日本橋問屋街街づくり協議会」を発足、昔からの街並み維持のため、ディベロッパーとの対応を協議。

工業用ゴム製品卸=売上高、販売価格ともにやや好転にも拘わらず、工業用ゴム製品の原材料である石油高騰の影響から仕入価格が上昇のため、肝心の収益が好転してこない。

玩具卸=売上高は著しく減少しており、資金繰りも厳しい状況となっている。ヒット商品の登場が期待される場所である。

業務用食品卸=BSEの再度発生により、米国よりの輸入交渉の経過が懸念される。

スポーツ用品卸=オリンピックも間近に迫り、ニュース等で話題は多いが、スポーツ用品業界としては、依然厳しい

状況が続いている。

豆腐小売＝原料の国産大豆、輸入大豆ともに高値安定で推移している。製品に多少でも転嫁できたところもあるが、量産工場では卸売先の条件が厳しく苦慮している。

電気製品小売＝例年より雨が少なく、真夏日も多い。エアコン販売では期待できる環境だったが大きな躍進は見られなかった。オリンピックイヤーでもあり、組合員の拡販を支援するため7～8月に組合主催の「デジタルハイビジョンテレビ拡販キャンペーン」を実施する。

米穀小売＝価格面では、量販店に対抗することはできないので、対面・対話の販売といった米穀小売店だからこそできるメリットを最大限生かして商売の

活性化につなげていこうと思っています。

<要望事項欄より>

* 末端零細企業に向けた施策を望みます。 【漬物水産物加工】

* 金融機関のいわゆる「貸し渋り」は改善されていないのが実状（中小、特に小規模零細の企業）で、この点を行政庁などに要望すべきでは。

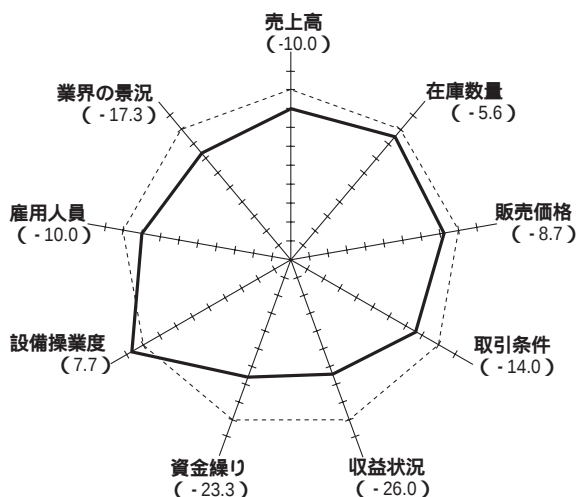
【シール印刷業】

* 社会保険料の負担増が経営上の問題になっています。減税をお願いしたい。

【建築金物製造】

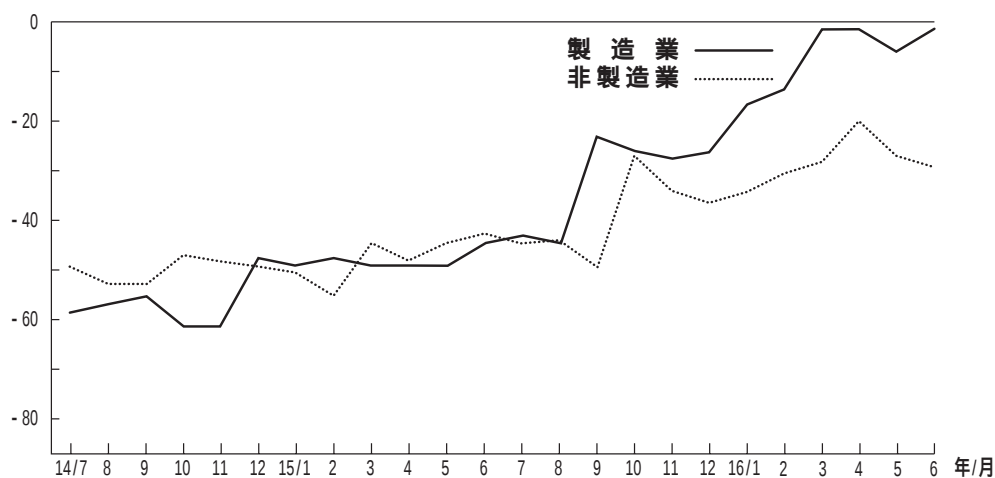
* 廃業工場の跡地利用が土壤汚染問題で困難になっている。結果として夜逃げにいたる悲惨な組合員もいる。救済を要望します。 【鍍金工業】

6月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）

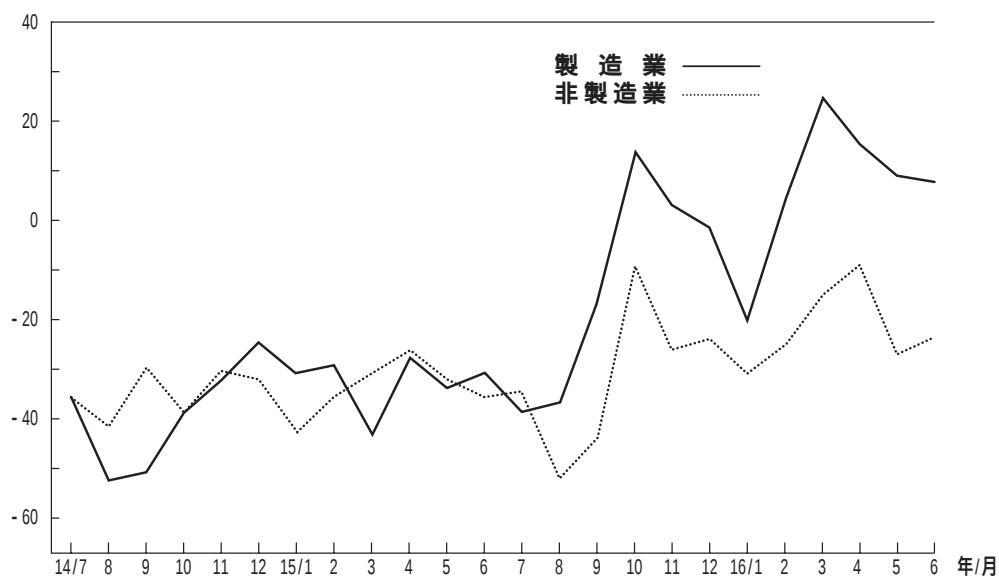


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H14.7～H16.6）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.7～H16.6）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。